

受賞者のその後の取組（平成 29 年現在）

平成24年度 経済産業大臣賞 「事業所・地方公共団体等」分野 受賞	受賞者名
	所在地
	受賞テーマ
	日産自動車株式会社
	神奈川県厚木市
	電気自動車「日産リーフ」における 3R の取り組み
1. 活動継続 あり	
リーフに採用した 3R の取り組みを、販売台数増加とともに継続している。 リーフ販売台数：75 千台（2016 年度末までの累計） 具体的な取り組み項目	
<ul style="list-style-type: none">・ 廃車由来樹脂リサイクル材・ バンパーからバンパーへのリサイクル・ 家電、容器由来リサイクル材の採用・ 木製廃パレット由来の制振材・ リチウムイオンバッテリーのリサイクル、再製品化（Refabricate、自動車以外へのリユース）実証	
2. 活動の広がり あり	
リーフで採用したリサイクル材を他の車種への採用拡大活動を実施している。	
<ul style="list-style-type: none">・ 廃車由来リサイクル材のアンダーカバーへの採用・ バンパーからバンパーへのリサイクル	
3. 活動の進化 あり	
廃車由来のリサイクル材の自動車への適用を拡大している	
<ul style="list-style-type: none">・ 鉄スクラップを鋳物部品へ適用	
4. 今後の計画	
日産の中期環境目標の「日産グリーンプログラム 2016」でリサイクル材使用率を 25%（現状 20%） 高める目標を設定し、取り組んでいる。 http://www.nissan-global.com/JP/ENVIRONMENT/APPROACH/GREENPROGRAM/	

（次頁に表彰概要掲載）

【表彰概要】

同社は、商品である自動車の事業活動における中期環境行動計画として「ニッサングリーンプログラム」を策定し実施している。

3Rに関わる活動としては、クルマのライフサイクルをトータルで考えた設計・開発を行い、環境負荷物質の使用削減、使用済み段階での解体のしやすさ、リサイクルのしやすさを考慮したクルマづくり、販売会社で発生する使用済みバンパーの回収・リサイクル、また、生産工場での再資源化率の向上、物流部門での部品梱包方法の改善等に取り組んでいる。

2010年12月に販売を開始した電気自動車「日産リーフ」では、クルマのライフサイクルに配慮した設計を行うだけでなく、リサイクル材料を約70部品に採用、また、駆動用リチウムイオンバッテリーのリユース・リサイクルの仕組みを構築した。

【樹脂リサイクル材料の積極的採用】

内装トリム部品の一部について、使用済み自動車から回収した樹脂部品を、品質を高めつつ色を合わせる新技術によりリサイクルし、「日産リーフ」の樹脂部品に採用、Car to Car リサイクルを実現した。

バンパーについては、生産工場にて従来廃棄されていた不良塗装済みバンパーを、新たに開発した塗膜剥離装置によりリサイクルし、「日産リーフ」に採用した。

さらに、シートの表皮材としてペットボトル由来のリサイクル材を使用するなど、使用済み自動車以外の廃製品由来のリサイクル材も採用した。



【リチウムイオンバッテリーのリユース・リサイクル】

「日産リーフ」に使用されている駆動用リチウムイオンバッテリーの自主回収・リサイクルシステムを構築した。回収したリチウムイオンバッテリーは、リユース、リサイクルすることで、資源の有効活用をはかっていく。